

企業を元気に、情熱系経営マガジン



「継ぐ」極意

先代の思いも受け継ぎながら
未来に向けての舵取りを

ケイ・エイチ工業株式会社
平野 祥之さん

堺のイチオシ

μm単位の超精密加工で
競争力を発揮

株式会社ビー・ティ・アイ

SAKAIの傑作

堺の伝統技術がモダンな
インテリアアートに

株式会社三共晒

SPECIAL FEATURE

「今」に伝え続ける 堺の老舗企業

堀富商工株式会社 / 株式会社ヤマエ

本誌は、次号からデジタルブックに
全面移行します。

(詳細は、誌面または、HPをご覧ください。)



136年の歴史に安住せず常に “創業者”の気持ちで今の時代 を見据えた経営を

堀富商工株式会社
代表取締役社長 堀畑 敏一

新型コロナウイルスの感染拡大による経済危機が懸念される今日、長い歴史を積み重ねてきた老舗企業はこうした危機を幾度も、いかに乗り越えてきたのでしょうか。そのヒントを堺の老舗企業2社に取材しました。伝統や過去の実績に安住せず、常に「今」という時代を見つめて経営してきた柔軟な姿勢がうかがえます。

堺緞通の製造・販売に始まり、
産業用高機能包装材料の製造へ

創業は1885年。136年もの歴史を誇る堀富商工株式会社ですが、堀畑敏一社長は「常に気持ちは“創業者”と語っています。この言葉通り、同社では歴代の経営者が、先代が成功した事業に安住せず、その時代の要請に応じて事業を変遷させてきた歴史があります。

始まりは明治期、紡績の材料である綿花の梱包に使われていた麻袋に目をつけた創業者が、その麻袋をほどいて紡ぎ直した織物を芯地に堺緞通を製造し、アメリカに販売したことでした。やがて2代目は、戦時中に軍服や銃器の防水梱包の製造販売に携わり、「鉄は国家なり」といわれた高度経済成長期には、3代目が鉄を錆びさせない包装材料を開発。ほとんどの製鉄会社を得意先としていたといいます。

そして今日、堀畑社長が展開する事

業は「高機能フィルムコーティング製造」「フレコンバッグや物流機器の製造販売」「自動化機械の販売」の3本柱。なかでも高機能フィルムコーティング製造においては、大阪の他に福島県いわき市にも製造拠点を設け、世界的にも数少ない最大3.7mまでの超広幅ラミネートコーティング設備や、3m幅のものにも防錆・防滑・抗菌などの液剤をコーティングできる世界最大の設備を備えています。「塗る・貼る」という加工から「巻く・切る」までを一貫生産できる総合加工メーカーは世界的にもあまり例がないということです。

トータルコストの削減を提案する
ソリューション・サプライヤーに

同社が大きな競争力を発揮している理由の一つは、堀富商工の社名が示す通り、製造業と商社の両方の役割を担っているところにあるように思えます。製品を作っている、あるいは既製品を販売するところだけでなく、得意先の工場や状況をしつかり見極めた上で、同社の製品を採用することによる工程の削減や省人化、物流コストの低減までを提案しており、堀畑社長は「当社はプロダクト・サプライヤーではなく、ソリューション・サプライヤーです」と話しています。

「単に製品を売るだけだと価格競争に陥りやすい。お客様のコスト削減といった課題に工場全体のトータルコストで応えることは、お客様と当社の双方に利益の



得意先から営業が持ち帰ってきた課題については、帰社後にすぐ、立ったまま行う「立ち会議」で製造、生産管理の担当者も含めて情報を共有。

あることです。数年前からヨーロッパのメーカーと独占輸入契約を結び、梱包に関わる自動化ライン装置や、製紙ロールなどの自動立体倉庫設備などを販売、定期メンテナンスまでを請け負い始めたのもそうした考え方に基づいてスタートした事業です」と堀畑社長。

「製品開発のタネはお客様のところにある」と、同社では社員全員で常にアンテナを張り、すぐに動くことをモットーとしており、営業が受けた得意先の課題をすぐさま製造、生産管理担当とともに「立ち会議」で情報共有し、翌日までに必ず顧客にレスポンスしています。

それが可能なのは、「やってみなければわからない。だからすぐにやってみよう」という同社の行動指針でしょう。失敗をとがめられることを恐れて、行動が遅くなることを良しとしない考え方が社員全員に浸透しているようです。

いくつもの経済危機を乗り越え
企業を継続できたのは長年の信頼

同社がいわき市にラミネート工場を立ち上げてからのこの15年間にも、リーマンショック、東日本大震災に超円高、そして今回の新型コロナウイルスといくつもの経済危機がありました。それを乗り越えてきた理由をうかがうと「危機感から変わらざるを得ない状況となったのが、逆に良い方向へ進むチャンスとなった」とのこと。例えば、製造コストを削減するための工程改善を行ったほか、得意先の工場全体でトータルコストの削減を提案する方向に転換したのも金融危機によって需要が激減した時だったそうです。

東日本大震災では、いわき市北部が避難準備区域に指定されたため、いわき工場の社員とその家族皆で一緒に堺へ1ヶ月間避難しました。その時に、堺と



さまざまな機能性ラミネート製品。



10μから60μという厚みで、紙やフィルム、不織布などにラミネート加工を行う。

いわきの両工場の全社員とその家族がともに困難に立ち向かった経験から、全社の結束力が強まり、さらには自社が被災し長期断水で困った経験から、応急給水組立式タンク「ホリフトウォーター」の開発につながっています。

そして、今回のコロナ禍では、もともと手がけていた医師への感染症を予防する手術着のラミネート加工の技術を活かし、コロナ感染予防の使い捨てガウンにもいち早く取り組んでいます。

コロナによる営業活動の自粛によって気付かされたのは、いかに業務の進め方を各人のスキルに任せきりにしていたかということかと。これを契機に、ヒト・モノ・カネの一元化を図り、さらに意思決定の瞬発力、逆境への対応力、行動に移すスピードを高めていこうと自社独自の企業資源計画に取り組み予定だと堀畑社長。

「136年という年月は結果であって、

現在、大手企業がこれまでにない業績の悪化を招いているように、今日が良いから明日も、さらには1年後も10年後も繁栄しているとは限らないのです。苦しい状況下にあつて大切なのは、お客様はもちろん、取引先や従業員とその家族みんなの応援と信頼です。信頼を築くには長い時間がかかります。そういった意味では、老舗企業だということでも得られる信用は無形の財産です。代々継承してきた『信義・誠実・共栄』の実践が、これまで企業が存続してきた秘訣なのだと思います」と語っていました。

堀富商工株式会社

代表者名/代表取締役社長 堀畑敏一
本社/堺市西区浜寺石津町東3-5-23
TEL/072-241-3821
設立/1885年創業
資本金/3,460万円
従業員数/85名
事業内容/産業用包装資材の製造・販売
<https://www.horitomi.co.jp/>



成功のポイント / 同社は、経営理念である『信義・誠実・共栄』をベースに「やってみなければわからない。だからすぐにやってみよう」という行動指針と「立ち会議」に象徴されるスピード感を重視した経営姿勢が、危機に強い、変化への適応力の高い企業体質を作り出しています。

株式会社ヤマエ
代表取締役社長 山本 靖子

100年企業を目指し 高品質の製品を安定して 生産できる技術力を育てる

素材もサイズも選ばないことで
競争力を獲得

海外航路の大型船で機関士をしていたという山本栄太郎氏が、1939年に航空部品の加工を担う鉄工所を堺市内で創業したのが株式会社ヤマエのルーツです。創業からまもなく、大手空調機メーカーの協力工場となりました。

戦後、学徒出陣から戻ってきた二代目が会社を再開すると、しばらくして本格的に稼働し始めた空調機メーカーとの取引が復活。得意先をそのメーカー1社に絞って経営してきたそうです。1958年には指定外注工場に指名され、1986年と1990年には品質努力賞を授与されるなど厚い信頼関係を築いてきました。

しかし2代目社長が病気で倒れると、残されたのは娘二人ということで、むかしの後継者問題が浮上りました。当時、総務部長を務めていた山本靖子社長は「私は継ぐつもりは全くなかったんで、会社を売却しようかという話も出ました。しかし、それは父の望みでないことを知り悩んでいたところに、外から聞こえてきたのが『女には製造業の経営は無理』という声でした。それが悔しかったので、逆にやってみようという気持ちになりましたね。一方で、『部長が社長になるのなら、全力で応援する』と言ってくれた社員もいたことがとても嬉しかったです」と語っています。

同社は、アルミや鉄、ステンレスなどさまざまな素材の加工を手がけており、なかでも鋳物の加工を得意として強みを発揮しています。「鋳物を切削する際に出る粉が細かく機械を傷めるというところで多くの工場が嫌がり、手がけているところが少ないんです。だからこそ、鋳物を手がけることを決めました。サイズも以前は手のひらサイズのものが主流だったんですが、機械を入れて直径400mmまでのものも扱えるようにしました。素材もサイズも選ばないという方針で競争力をつけようと考えたんです」と山本社長。量産工場からの脱皮を目指しての方向転換でした。

量産工場から脱皮するために 小ロット多品種生産へ

「当社は、工程の段取りのできる人と製品のチェックをする人が1人か2人いれば、他の人は毎日、流れ作業的に同じ製品を作り続けるという量産工場で、人が機械を使っているのだから、機械が人を使っているのだからわからない状態でした。それで技術が伸びるわけがないんですね。しかもグローバル化が進み、多くのメーカーが生産拠点を海外へ移し始めていました。当社の得意先である空調機メーカーも中国に工場を作ることにになり、一緒に行かないかとお誘いいただきましたが、当社の規模で海外に移転することとはリスクがあるという判断で国内にと



横型マシンニングセンターを操作する若手技術者。

どまることにしたのです。とは言っても、国内に量産品加工の需要がなくなっていくことは疑いようのないことでした。それまで、小ロット多品種の仕事は35%を外注しており、これを何とか社内に対応することが生き残るための課題でした」と山本社長。

現場では、小ロットの仕事を受けることに抵抗もあったといいます。山本社長はさまざまな変革を敢行しています。まず、この加工しかできないという専用機をできるだけ無くし、マシンングセンターなど汎用性の高い機械をグループごとに固めて配置。また、小ロットでも売り上げを伸ばすために機械の稼働率を上げようと、2交代制の時差勤務で午前8時半から午後10時まで機械を止めることなく稼働させています。1台の機械を2人が担当しているのも、1人が病気などで欠勤しても機械を止めることがないようにということ。これによって、忙



「従業員数30名ほどという中途半端な企業規模を逆に徹底した品質管理体制を強みにした」と山本社長。

徹底した品質管理で 幅広い業界に得意先を獲得

しくても1人に過重労働を強いることがなくなりりましたが、勤務時間を2交代にしたことへの反発も大きく、それを理由に辞めていく社員もいたということでした。

「本来のものづくりは、自分で段取りして製品を作り上げていくことに面白味があると思いますし、私はそう思える技術者を育てたいと考えてやってきました。日頃から現場に伝えているのは、本当の営業マンは二つひとつの製品であり、それを作っているあなたたちなんだよ、ということ。私は毎日、安定して高品質の製品を生産し続けていることこそが誇る。技術力だと考えています」と山本社長。

技術者が多く、数年前からは大学の新卒者も採用し始めています。会社の目指している方向、考え方を理解し、共有してくれる社員を育成していきたいからだと語っていますが、大卒者を採用する理由はもう一つ。将来の事業承継を視野に入れていることだとか。「はつきりと決めたことではありませんが、子どものいない私は後継者を社内からということも考えています。山本家が途絶えるのは何とも思いませんが、ヤマエという屋号には思い入れがあります。ヤマエの精神が継がれなければ、名前が残っても会社が残ったことにはならず、当社をよく理解してくれている人に継ぎたいと思うのです」。

このコロナ禍で厳しい経営環境にありますが、山本社長はかつてのリーマンショックの際に、社員と危機感を共有できたおかげでコストの削減や意識改革を一気に進められた経験があります。

子どもの頃に「汚くて嫌だ」と強烈に



新たな機械の導入で直径400mmの部品も加工できるように。

思った工場内の「3S活動」に精力的に取り組むとともに、最注力しているのは品質管理です。最先端設備を導入しているほか、機械が稼働している間は必ず品質管理担当者を常駐させ、また工程内検査も厳しく実施。同社の技術力を活かせる分野であれば業界を問わず、精力的に新規開拓を行った結果、現在はクレーンやリフトといった産業機械や油圧機などの部品加工を幅広く手がけるようになってきました。

創業82年を迎えて「100年企業を目指す」と宣言中の同社ですが、大切なのは100年企業になることではなく、社員が丸となって向かう共通の目標があることだと山本社長は語っていました。

株式会社ヤマエ

代表者名／代表取締役社長 山本靖子
本社／堺市中区深井畑山町258
TEL／278-2523
設立／1939年創業
資本金／1,300万円
従業員数／26名
事業内容／金属製品切削加工
<http://www.yamae.jp>



成功のポイント／「事業は人なり」を体現している会社です。社員のやる気を引き出し、能力をアップさせる。そのために山本社長は、全社の方針を示し、導き、時には母のような大きな心で社員の成長を見守る。それに応じて社員が一致団結して事に当たる社風、そのヤマエイズムが秘訣です。



継ぐ 極意

さまざまな事業継承の
有り様をご紹介します

先代の思いも受け継ぎながら 未来に向けての舵取りを

代表取締役 **平野 祥之**さん (写真左)



(平野 祥之 代表取締役)

(平野 健治 会長)

ケイ・エイチ工業株式会社

堺市中区田園969-1 TEL.072-234-0781

代表者名 / 代表取締役 平野 祥之

設立 / 1997年設立

資本金 / 1,505万円

従業員数 / 17名

事業内容 / 化学・医薬品・食品プラントの設備支援、購買支援

<http://www.kh-co.jp/>

1997年に平野健治会長が兄の会社から独立して設立。化学・医薬品・食品プラントの設備支援、購買支援を行う。とりわけ高い溶接技術を強みとし、発注先の課題を解決するための設計から製作までを一貫して担う「コンパクトエンジニアリング」を追求している。



昨

年11月に代表取締役に就任されたばかりの平野祥之社長は、先代が創業する前に教育大学に進学しており、小中学校で教鞭を執っていたという異色の経歴の持ち主。しかし、自身も大学時代から事業家への関心が高く、将来の事業承継のため、2000年にケイ・エイチ工業に入社しました。

「ものづくりについては門外漢だったので、まずは現場に入り、管工事施工管理技士や給水装置工事主任技術者など、十数種類の資格を取得しました。新規顧客を開拓すべく営業しても、プラントにとって設備は心臓部。簡単に任せていただけないなかで、人材不足に困っている企業が多いことを知り、プラントに特化した人材派遣事業を立ち上げました」。やがて、同事業を関連会社として独立させ、代表取締役に就いた平野社長。「そこで実際に経営に携わったのは良い勉強になりましたね」と語っています。

現場を大切に考える先代と、顧客第一主義の徹底を求める平野社長の間で衝突することもあったといいます。「中小企業家同友会の先輩経営者からの、まずは『はい、わかりました』と肯定的に受け止め、その後に自分の思う方向に動かすことが考えられる。賢い後継者になれという助言は役立っています」と平野社長。数年前には創業から父が大切にしていた思いを、経営理念として明文化しました。

これからの抱負は、先代が長年培ってきた技術を活かして自社製品を開発すること、設備支援から人材の手当てまでプラント全てを任せてもらえるようにすることと平野社長。会社の発展が社員の幸せにもつながるといふ思いをみんなで共有していきたいと語っています。

現代の若い人たちにこそ、 日本一の産地・堺から、 新しい手拭いの楽しみ方を伝えたい。

小巾綿布に関わる織工場、晒工場、染工場などの一大集積地である堺市は、手拭いの日本有数の生産地です。古くから日本人に親しまれてきた手拭いの需要が下がるなか、新しいライフスタイルに取り入れられる手拭いのイメージを、若い世代にアピールしたいと2017年から「てぬぐいフェス」を開催しています。てぬぐいフェス実行委員会の宮本基広委員長に、開催のきっかけからうかがいました。



宮本基広実行委員長

「もつずいぶん前から和晒や注染など手拭いに関わる企業の若手経営者たち



2019年の「てぬぐいフェス」のようす

で情報交換の場を持っていました。そのメンバーで、日本で一番の生産量を誇る堺の手拭いをPRできる活動をしたという話から若い世代向けのイベントを開催することになったのです」。

2019年の「てぬぐいフェス」では、会場をそれまでの堺市役所前から浜寺公園に移し、若い人たちに人気のアーティストを大勢招いたり、「てぬぐいファッションショー」を行ったりしています。「堺の伝統産業を紹介するのだから、堺市役所前が良いという意見もありましたが、一部の手拭い好きの方だけでなく、不特定多数の若い人たちに広く手拭い

のことや、日本一の手拭いの産地・堺をアピールするためには、産地から外へ出ていくことが重要だと考えたんです」と宮本委員長。

残念ながら新型コロナウイルスの感染防止のため、昨年に続き、今年も「てぬぐいフェス」の中止の可能性が高く、そうしたなかで、実行委員会として何かできないかと、昨年の夏には、実行委員会の予算で製作したマスクを5千枚、NPO法人を通してフィリピンの子どもたちに届けました。宮本委員長は「国内でマスクの供給がようやく落ち着いてきた夏頃に、アジアではまだまだマスクが不足していることを聞き、それなら堺の手拭い生地で作ったマスクを届けようということになったんです」と語っています。現地からは、子どもたちの笑顔の写真が送られてきました。

かつては、どこかにも何枚もあり、毎日の暮らしの中で身



手拭いマスク5000枚は、NPO法人エンチャイルドに託された



フィリピンの子どもたちから届けられたお礼の写真

近に使われていた手拭い。現代社会でも、若い人たちに身近な実用品として使ってもらうには、アウトドアやスポーツなど新しいマーケットを創出する必要があると宮本委員長。さらに、日本一の小巾綿布の産地・堺のブランド化を図ることで、この業界に関わる全ての人に希望ある未来を見せ、ひいては働き甲斐につながってくればと語っています。「二人ひとりの力では難しいですが、業界あげて発想力や才能、パワーを集すれば、ますます発信力を高められます。てぬぐいフェス実行委員会の役割はそこにあると思っています」。

取材協力
てぬぐいフェス
実行委員会
<https://tenugui fes.com/>

お問合せ先
info@tenugui fes.com

令和3年度 堺市の中小企業者向け支援事業のご紹介

堺市ものづくり支援課

○堺市ものづくり新事業チャレンジ支援補助金

市内中小企業の新たなもののづくりにチャレンジする経費を補助します。

■補助内容

期間…1年 補助率…補助対象経費の1/2以内

■募集期間

2021年5月1日～31日(予定)

○堺市デジタル化促進補助金

市内中小企業の販路拡大及び製造工程にかかるデジタル化を支援します。(申請には、堺市産業振興センターが行うIPCスマートものづくり導入支援センターによる支援を受けることが必要です)

①販路拡大に係るデジタル化(小規模事業者は対象外)

補助率3/4 限度額100万円

②製造工程に係るデジタル化

補助率1/2(IoT、AI導入 限度額50万円、自動化装置・機器を含む設備(以下「ロボット」)導入や、ロボット導入時に併せてIoT、AIも複合導入の場合限度額150万円)

■問合せ先

堺市ものづくり支援課

TEL: 072-228-7534 FAX: 072-228-8816

堺市イノベーション投資促進室

○市税優遇制度(イノベーション投資促進条例)

市内の工場等の新增築、建替等や、都市拠点(都心地域、中百舌鳥地域、泉ヶ丘地域)での本社等の事業所整備について、一定条件を満たす場合に市税を最長5年間軽減します。

<基幹産業の発展に向けた投資の促進>

■対象となる投資

- 工場、事務所の整備(製造業及び情報通信業の事業の用に供するものに限る)
- 研究所、高度物流施設の整備

■対象地域

工業専用地域、工業地域、準工業地域

■軽減税目

固定資産税(家屋・償却資産)・都市計画税(家屋)・事業所税(資産割)

■優遇措置

投下固定資産額(土地を除く)1億円以上(大企業は10億円以上)の場合、1/2軽減

※成長産業分野の本社移転または研究所整備の場合、2/3軽減

<都市拠点を強化する投資の促進>

■対象となる投資

本社、研究所、事務所の整備

■対象地域

都心地域、中百舌鳥地域、泉ヶ丘地域

■軽減税目

固定資産税(家屋・償却資産)・都市計画税(家屋)・事業所税(資産割)

■優遇措置

投下固定資産額(土地を除く)10億円以上の場合、1/2軽減(本社・研究所の新設・拡充または市外からの移転の場合は、1億円以上)

※ただし、都市拠点の特性に応じて一定の要件を満たす場合、最大3/4軽減

○生産性向上特別措置法に基づく「先端設備等導入計画」の認定

中小企業者が労働生産性を向上させるため、堺市内の事業所において先端設備等(※)を導入する計画について、本市の認定を受け、一定の要件を満たす場合、以下の支援を受けることができます。

※先端設備等…機械及び装置、測定工具及び検査工具、器具及び備品、建物附属設備、ソフトウェア、事業用家屋(取得額の合計が300万円以上の先端設備等とともに導入されたもの)、構築物

■支援内容

- 固定資産税の特例措置(要件を満たす場合、認定計画に基づき取得した先端設備等の固定資産税を3年間ゼロとする特例措置)
- 資金調達における信用保証協会の追加保証や保証枠の拡大

※詳しい要件等については、堺市HP「生産性向上特別措置法に基づく「先端設備等導入計画」の認定について」のページをご確認ください。

○堺市グリーンイノベーション投資促進補助金

脱炭素社会の実現に貢献する革新的技術に関する研究開発拠点や生産拠点の整備、CO₂の大幅削減や再利用等に係る設備投資について、費用の一部を補助します。(家屋・償却資産の取得費の合計が10億円以上で、大幅な温室効果ガス削減に貢献することが見込まれるもの。)

※補助要件・補助内容等の詳細はお問い合わせください。

○堺市企業成長促進補助金

企業の本社や研究開発施設の整備、市内製造業が成長産業分野に挑戦する投資について、費用の一部を補助します。

※補助要件・補助内容等の詳細はお問い合わせください。

○都市拠点の業務集積を促進する補助金

都市拠点の特性に応じた事業所の立地を促進するため、都心地域は業務系機能、中百舌鳥地域はスタートアップやICT関連企業、泉ヶ丘地域は次世代ヘルスケア関連企業の各オフィス開設に係る賃料等を補助します。

※補助要件・補助内容等の詳細はお問い合わせください。

●問合せ先

堺市イノベーション投資促進室

TEL: 072-228-7629 FAX: 072-228-8816

堺市環境エネルギー課

○事業所向け省エネ設備等導入支援事業

(旧:堺市スマートファクトリー・スマートオフィス導入支援事業補助金)(先着12件程度)

省エネルギー専門家による省エネルギー診断を受けていることを条件に、所定の省エネ設備(ボイラ、変圧器、コンプレッサ等)を1種類以上導入する際、導入費用の一部を支援します(LED照明・高効率空調は補助対象外)。

■補助対象者

市内事業者(風俗営業等除く)及びリース事業者

■補助対象事業所

年間のエネルギー使用量が1,500kL未満である市内事業所

■補助対象事業・補助内容

補助対象経費(設備費)が30万円を超える事業であること。補助額は対象経費の1/3以内で削減要件及び補助上限額は以下のとおり。

事業所全体の削減要件(A・B・Cのいずれかを満たす事業)			補助上限額
A:エネルギー使用量	B:温室効果ガス削減量	C:最大需要電力	
5%以上※	5t-CO ₂ 以上	5%以上	100万円
1%以上	1t-CO ₂ 以上	1%以上	50万円

※温室効果ガス削減量 1t-CO₂以上に限る。

■申請期間

2021年5月中旬～2021年12月10日(ただし、予算額に達し次第、終了)

※コンプレッサの更新を考えている方は併せて「空気圧縮機・省エネアドバイザー派遣事業(無料)」をご検討ください。今お使いのコンプレッサの負荷率等を計測し、運用改善や設備更新による省エネ効果を試算します。また、希望に応じて吐出圧力の調節などチューニングを実施します。(先着6件)

●問合せ先

堺市環境エネルギー課

TEL: 072-228-7548 FAX: 072-228-7063

堺市雇用推進課

○堺市女性雇用促進等職場環境整備支援事業補助金

女性の職域拡大や働きやすい職場づくりを推進するために、職場における労働環境の改善に取り組む市内中小企業等に対して整備費用の一部を補助します。

■対象者

次の3点を満たす企業等。①市内で1年以上事業を営み、常時雇用労働者数が300人以下であること ②堺市産業振興局雇用推進課が実施する、女性活躍推進のための事業(セミナー等)に参加した、又は参加を予定しているなど ③補助金交付申請年度に、補助事業を実施する事業所において、女性の常時雇用労働者数を10%以上増やす採用を行った若しくは採用を予定している又は翌年度の4月1日採用を予定していること

■補助金額

補助対象経費の1/2以内(上限額50万円)

■補助対象

①専ら労働者の使用に供するための女性用施設(トイレ、シャワールーム、更衣室、休憩室)の整備 ②女性の就労に際しての安全対策

■募集期間

2021年4月1日～2022年2月28日(予定。ただし、予算額に達し次第、終了)

○堺市障害者雇用貢献企業認定制度

市内中小企業における障害者雇用を促進するため、障害者雇用積極的に取り組む企業を認定し、企業情報の発信や奨励金の交付などで支援します。認定には審査があります。

■対象者

市内に本社のある従業員300人以下の法人又は個人で、障害者の法定雇用率を満たし本市が別に定める条件に該当する企業

■支援措置

①堺市ホームページ等を活用した企業情報の発信 ②奨励金の交付(要件を満たした企業のみ) ③中小企業活力強化資金融資「雇用貢献企業支援資金」の保証料免除 ④堺市の総合評価落札方式における加点

⑤障害者雇用管理に係る情報提供

■申請期間

2021年6月1日～2021年7月31日(予定)

●問合せ先

堺市雇用推進課

TEL: 072-228-7404 FAX: 072-228-8816

「関西ものづくり新選2021」に堺市内企業の製品・技術が選定されました!

企業名	製品・技術名
株式会社松本機械製作所	上部分割開閉型遠心分離機：MARK3γ（マークスリーガンマ）
境川工業株式会社	新形状フィンを採用したステンレス高効率熱交換器

Webサイトから「さかいIPC PRESS」をご覧ください!

次号60号から本誌は、紙媒体での発行を廃止し、デジタルブックに全面移行します。より一層、利便性を高めてまいりますので、今後ご愛読いただきますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。Webからの閲覧方法は次のとおりです。

●センターホームページ <https://www.sakai-ipc.jp/> から「さかいIPC PRESS」のバナーをクリックしてください。IPCプレス最新号紹介ページから電子ブックまたは、PDFでご覧いただけます。



●スマートフォンやタブレットからも電子ブックをご覧ください。

専用アプリ「Catalog Pocket（略称：カタポケ）」（無料）をインストールいただきますと、便利な機能がご利用いただけます。



翻訳機能・10言語対応 **文字ポップアップ機能** **音声読み上げ機能**

※翻訳は、自動翻訳エンジンを使用しています。

※日本語・英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語・スペイン語・ベトナム語の10言語で閲覧いただけます。

※ベトナム語は、音声読み上げ機能には、対応していません。

「さかいIPC PRESS」の発行は、センターホームページの他、「さかいIPC経営支援メールマガジン」でご案内させていただきますので、是非ご登録ください。

さかいIPC経営支援メールマガジンにご登録ください!



当センターが実施する事業案内の他、中小企業支援機関の各種支援情報をタイムリーに電子メールで提供しています。是非、センターホームページからご登録ください。

[経営支援メールマガジン登録ページ](#)



令和3年度 IPC スマートものづくり導入支援センター

～中小企業デジタル化・自動化促進支援事業～を活用ください!!

令和3年度、堺市産業振興センターでは、デジタル技術や自動化技術を活用し、既存事業の新たな価値創造や新規ビジネスの立ち上げ、経営にかかる各業務効率化を考えている堺市内の中小企業等向けに、Web窓口相談やオンラインまたは現地でのコンサルティング支援を行います。

支援を受けられた方には、システムの導入に向けた、ロードマップ（システム導入提案書）を作成し、必要に応じシステムを提供するベンダー企業（主に堺市の企業）をご紹介しますと共に、各種補助金活用のアドバイスも行います。

詳しくはホームページで確認ください。



相談から導入までの流れ

相談窓口（随時）

相談申込書をお送りください。窓口相談は、日程調整の上行います。相談はWEB面談も活用します。

オンライン・現地コンサルティング

エキスパートが現状把握～診断の上、課題解決できるシステムを企業と二人三脚で検討します。

ロードマップ作成

エキスパートがシステム導入までのロードマップを作成。身の丈に合ったシステムの仕様を複数提示します。

必要に応じベンダーマッチング

ロードマップを基に、主に堺市内のシステム提供ができる企業をご紹介します。（紹介無料）

お問い合わせ先 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課
TEL : 072-255-6700 / FAX : 072-255-1185 Email : keiei_shien@sakai-ipc.jp

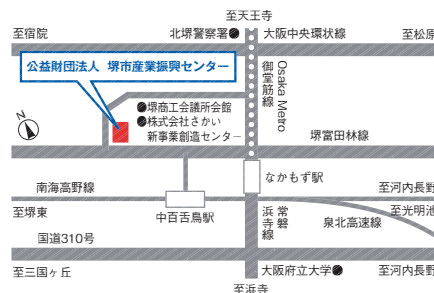
中小企業を
全力応援



公益財団法人
堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200
<https://www.sakai-ipc.jp/>



●南海高野線中百舌鳥駅より約300m ●Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m ※駐車場は、隣接の来客用駐車場（無料）がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

プラスチック・樹脂加工で 創業時から精度を追求

1978年の創業時から樹脂加工に携わってきた株式会社ビー・ティ・アイ。早くからNC旋盤を導入し、より精度の高いプラスチック・ウレタンゴム加工を追求してきました。今では3次元測定器も備えて、精密切削で強みを発揮しています。

10年ほど前から大阪府立大学との共同研究で、太陽電池向けシリコンを切断するワイヤーソー主軸ローラーの溝加工や、ワイヤーブリーなどの付属部品の加工で、 μm 単位の超精密加工技術を開発。ウレタンゴム素材のローラーにピッチ 0.25mm 、深さ 0.2mm という溝加工を $\pm 3\mu\text{m}$ という精度で施せるのは、日本でも数社しかないということです。しかも、この溝を切削するための、刃先がわずか 0.3mm という刃物も自社製作。高価な材料だけに、この超精密加工技術が歩留まりを高めることに貢献し、そのままコストの低減につながっていることで、同社の競争力を高めています。

得意先のニーズに直接応える 提案型営業を実践

「当社では創業当時から、商社などをはさまず、メーカーさんへ積極的に営業をして得意先を広げてきました。お客様が求めているものが何か、直接やりとりしなければ、細かいニュアンスまで把握できないからです。開発中から関わること、お客様が目指している方向や重視しているものに応える提案ができ、さらに試作品も提供できます。当社としては新しいノウハウが蓄積できるうえに、価格競争に陥ることもありません」と西谷則行社長。得意先企業が求められるものは精度ばかりでなく業界に



マシニングセンターやロボドリルなど充実した設備が、高精度な加工を実現。



「障害者スポーツの一つ『ボッチャ』で使用される勾配具の製作をボランティアでお手伝いしたら、現場の社員が本来のものづくりの喜びを知ることになった」と語る西谷社長。

よって異なり、同社もそれに応える形で技術を磨いてきたということです。

こうして技術力を維持し、さらに高めるために、どういった取り組みをしているのか。西谷社長は「同じ仕事でも、自分で考え行動するほうが生産性は高いはず。社員にはこれまで改善提案活動やものづくりコンテストのほか、ISOで取得したマネジメントシステムをさらに高めるため3つのテーマで委員会を設置し、自分たちで考え工夫する仕組みを作ってきました」と語っています。

離職者ゼロが技術力の安定に さらなる成長に向け間口を広げて

西谷社長が誇りに思うと語るのは、同社では過去5年間、1人も離職者がいないことです。「なかには、友人を入社させた社員もいます。嬉しかったですね。退職者が出るとどうしても戦力が落ち、他の社員への負担となって仕事の精度に関わってきます。つまり、社員が定着しているということは、技術の安定につ

ながることなのです」と西谷社長。

今後は、これまで自社でできないと外注したり断っていたりした案件について、機械を導入するなり、新しい技術を習得するなりしてさらに間口を広げるほか、半導体メーカーの多い九州に営業拠点を設ける計画も。得意先が増えるだけ、新しい技術やノウハウの獲得につながると西谷社長は力強く語っていました。

活用した事業メニュー

■大規模展示会出展支援事業

名古屋の機械要素技術展などへの出展を支援していただきました。

■各種セミナー事業

各種セミナーに社員を受講させています。

■申請手続きの支援

「シマノものづくり大賞」に申請する際の書類作成を支援していただきました。

※令和元年度「シマノものづくり大賞」特別賞を受賞



超精密加工された製品例。

株式会社ビー・ティ・アイ

代表者名/代表取締役社長 西谷則行
本社/堺市美原区木材通1-10-8
TEL/072-362-2550
設立/1978年創業 1988年設立
資本金/2,500万円
従業員数/32名
事業内容/プラスチック加工・ウレタンゴム加工
<https://www.bti-2.co.jp/>



μm単位の超精密加工で競争力を発揮

堺に活気を、ものづくり応援マガジン

堺の伝統技術がモダンな
インテリアアートに



堺のものづくりから生まれた逸品

SAKAIの傑作

モダンなデザインのファブリックアートが一枚、壁に掛けられているだけで部屋の雰囲気を一変させています。三共晒が新しく開発し、今年1月から販売を開始したばかりの「WASIL(ワシル)」です。

「ネーミングの由来は『和を記す』です」と中野泰司社長。「和晒という素晴らしい伝統技術が、次世代にも継承されるようにという思いから考案しました」と語っています。

新製品の開発にあたっては、同社に加工を依頼している得意先と競合する製品でないこと、さらには和晒という技術と、同社のさまざまな染工場とのネットワークを強みとして活かせることを念頭に置いたとか。外部からコンサルタントも招き、2年半をかけてよ

うやく完成しました。

3人のデザイナーによる多彩なデザインが魅力です。デザインを活かすための生地を選定など、製品開発には和晒を知り尽くした現場の社員も参加しました。こだわったのは、和晒の風合いを活かす最適な染色方法を見つけること。注染から藍染に変更したり、注染を何版も重ねて通常では表現できないデザインを実現したり、さらには藍染の上にシルクスクリーンで絵柄に厚みを持たせたりしています。ついにはアクセントとなる色を手描きするほどの思い入れで、それぞれの染色方法の良さとデザインが見事に融合しています。

株式会社三共晒

代表者名／代表取締役 中野泰司
本社／堺市中区毛穴町195
TEL／072- 271-0460
設立／1975年
資本金／1,000万円
従業員数／9名
事業内容／浴衣、手ぬぐい、寝巻、反巻、腹帯、布おむつ用などの小巾綿布漂白
<http://www.sankyosarashi.co.jp/>



2021年3月末～6月末頃まで堺市産業振興センター1F「さかいモノてらす」で展示予定